

■ アフターコロナの都市ビジネス

研究の概要

都市ビジネスについて「関係性のビジネス」（関係をつくりながら価値をつくり出すビジネス）という視点から研究しています。新型コロナ禍はそれ自体大きな問題で、人々の健康やビジネスなどに大きな被害をもたらしました。しかし、その収束後、都市とくに地方都市がビジネスの場として大きく見直される可能性があると感じています。

アフターコロナにおいては、テレワークの拡大に象徴されるようにIT化が大きく進んでいきます。規制緩和なども進み、産業構造も大きく転換を迫られるかもしれません。その一方で、人々の関係のあり方も大きく見直され、ビジネスのあり方も大きく変化すると思います。これまでの過度なグローバル化や大都市への集中が終焉し、地方都市がビジネスの場として復権する可能性がでてきたと考えています。アフターコロナの社会や地域の変化と、そこでの都市ビジネスのデザインについて研究を進めています。

研究の特徴

実践的な問題解決に基づいて研究を進めたいと考えています。ビジネスデザインのさまざまなモデル・プロセス・手法などの中から対象問題に適したものを選択し、あるいは新しくモデルや手法をつくり出して、具体的なビジネスをデザインすることで、研究を進めたいと考えています。最終的には関係性のビジネスについて方法論の提案や教育メソッドの確立を目指しています。

行政・経済界・地域と連携した取り組み例

2015年ころから、和歌山市内のまちづくり会社と連携し、ゼミナールの学生などにも協力してもらって、市内のフィールドワークや、まちづくり会社に対するビジネスの提案などを行っています。

研究者からのメッセージ

現在はビジネスモデルのデザインについて研究していますが、それ以前は、社会システムや社会情報を、さらに以前は都市計画を勉強してきました。これまでの知識や経験を活かして取り組みたいと考えています。

研究分野 : ビジネスモデル, システムデザイン, 都市ビジネス

研究者の所属部局・職位・氏名 : 和歌山大学経済学部 経済学科・教授・牧野真也

本件に関するお問い合わせ : liaison@ml.wakayama-u.ac.jp